

平成 27 年度事業報告

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの事業概要は次のとおりである。

〔1〕会 員

平成 27 年度末の会員数は次のとおりである。

区 分	会 員 数	備 考
個人正会員	1914 名	うち海外在住外国人正会員 16 名 うち外国 1 名
特別正会員	16 名	
団体正会員（公益）	69 名	
団体正会員	60 名	
学生会員	446 名	
名誉会員	17 名	
合 計	2522 名	

〔2〕運営に関する会議

1. 通常総会の開催

第 35 回通常総会を次のとおり開催した。

- (1) 日 時 平成 27 年 6 月 1 日（月） 13 時 00 分～13 時 32 分
- (2) 場 所 タワーホール船堀（東京都江戸川区）
- (3) 出席者 1,127 名
- (4) 議 題

- 1) 平成 26 年度決算（案）について
- 2) 理事および監事の選任について
- 3) 顧問および参与の選任について
- 4) 名誉会員の推挙について

報告 平成 26 年度事業報告

2. 理事会の開催

理事会を次のとおり開催した。

(1) 第 105 回理事会

- 1) 日 時 平成 27 年 5 月 11 日（月） 17 時 00 分～18 時 52 分
- 2) 場 所 学会事務局会議室（東京都江東区）
- 3) 出席者 迫田会長他理事 14 名、監事 2 名、幹事 10 名、他に事務局
- 4) 内 容

- ア. 各賞表彰（学会賞、学術賞、論文賞、論文奨励賞、技術賞、技術奨励賞）について

- イ. 平成 26 年度事業報告および決算（案）について
- ウ. 総会開催案内・委任状について
- エ. 新入会員の理事会承認について
- オ. 機関誌編集発行業務の見直しについて
- カ. 研究委員会の継続申請について
- キ. 京都会議記念基金による派遣助成候補者の推薦について
- ク. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告
- ケ. その他

(2) 第 106 回理事会

- 1) 日 時 平成 27 年 6 月 1 日（月） 14 時 21 分～15 時 23 分
- 2) 場 所 タワーホール船堀 402 会議室（東京都江戸川区）
- 3) 出席者 理事 17 名、監事 2 名、事務局長
- 4) 内 容
 - ア. 会長の選定について
 - イ. 副会長、常務理事及び運営理事の選定について
 - ウ. 副会長の会長業務執行に係る職務の代行順序の決定について
 - エ. 表彰委員会委員長の委嘱
 - オ. その他

(3) 第 107 回理事会

- 1) 日 時 平成 27 年 7 月 27 日（月） 18 時 00 分～20 時 01 分
- 2) 場 所 学会事務局会議室（東京都江東区）
- 3) 出席者 古米会長他理事 20 名、監事 3 名、幹事 10 名、他に事務局
- 4) 内 容
 - ア. 期の方針・構想について
 - イ. 運営組織体制と運営幹事の選任について
 - ウ. 入退会者の承認について
 - エ. 平成 26 年年間優秀論文賞選考結果について
 - オ. 機関誌編集発行業務の変更について
 - カ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告
 - キ. 事務局長の交代について
 - ク. 各支部報告
 - ケ. その他

(4) 第 108 回理事会

- 1) 日 時 平成 27 年 9 月 14 日（月） 12 時 40 分～13 時 35 分
- 2) 場 所 信州大学工学部キャンパス会議室（長野市）
- 3) 出席者 古米会長他理事 14 名、監事 3 名、幹事 7 名、他に事務局
- 4) 内 容

- ア. 入退会者の承認について
- イ. 研究助成の学会推薦について
- ウ. 各種委員会名簿案について
- エ. 機関誌著作権規程の改定について
- オ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告
- カ. その他

(5) 第 109 回理事会

- 1) 日 時 平成 28 年 3 月 17 日 (木) 12 時 20 分～13 時 31 分
- 2) 場 所 アスティとくしま ときわプラザ学習室 (徳島市)
- 3) 出席者 古米会長他理事 22 名、監事 3 名、幹事 6 名、他に事務局
- 4) 内 容
 - ア. 入退会者等の承認
 - イ. 経理規程および旅費規程の改定
 - ウ. 資金調達及び設備投資の見込みについて
 - エ. 平成 28 年度事業計画書 (案) について
 - オ. 平成 28 年度収支予算書 (案) について
 - カ. 消費税引き上げに伴う年会費の改定
 - キ. 年会費改定に伴う細則の変更について
 - ク. 国際連携会員の承認
 - ケ. 年会優秀発表賞および年会学生ポスター発表賞の選考経緯に関する報告
 - コ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告
 - サ. 各支部報告
 - シ. その他

[3] 運営方法および財政改善に関する検討

健全な運営のための業務改革と財政改善を積極的に推進した。

[4] 年会

第 50 回日本水環境学会年会を次のとおり開催した。

- 1. 開催日 平成 28 年 3 月 16 日 (水)～18 日 (金)、19 日は現地見学会
- 2. 場 所 アスティとくしま (徳島市)
- 3. 参加者 1314 名
- 4. 一般発表：発表件数 689 件 (口頭 476 件+ポスター 213 件) の他、特別シンポジウム、企業展示、各賞の発表と表彰が行われた。

[5] シンポジウム

第 18 回日本水環境学会シンポジウムを次のとおり開催した。

- 1. 開催日 平成 27 年 9 月 14 日 (月)～15 日 (火)、16 日は現地見学会
- 2. 場 所 信州大学工学部キャンパス (長野市)

3. 参加者 394 名
4. 17 の研究委員会と本部企画、支部企画によるセッションの他、企業展示、特別講演会、各賞の発表と表彰が行われた。

〔6〕 国際会議

1. **Water and Environment Technology Conference 2015 (WET2015)**を開催した。

(一部は、水 ing 株式会社からの出捐事業であった。)

開催日 平成 27 年 8 月 5 日(水)～6 日(木)

場 所 日本大学駿河台キャンパス 1 号館 (東京都文京区)

2. 大韓環境工学会との共催で第 24 回日韓水環境シンポジウムを開催した。

開催日 平成 27 年 10 月 18 日(日)～19 日(月)、20 日(火)は視察見学

場 所 Korea Institute of Science and Technology (KIST) (韓国ソウル市)

〔7〕 機関誌

1. 機関誌「水環境学会誌」を毎月発行し、会員に配布した。
2. 機関誌“**Journal of Water and Environment Technology**”を発行し、科学技術振興機構 (JST) が運営する **J-STAGE** 上で公開した。
3. 機関誌「水環境学会誌」原著論文およびバックナンバーを科学技術振興機構 (JST) が運営する **J-STAGE** 上で公開した。
4. 「水環境学会誌」およびその前身の「水質汚濁研究」の Vol.1～Vol.30 の PDF 版を収めた DVD-ROM を販売した。

〔8〕 IWA 活動への協力

IWA およびその国内委員会の活動に参加し、IWA 活動を支援・推進した。

〔9〕 出版企画

“**Water Pollution Control Policy and Management: The Japanese Experience**”改訂版の編集を行った。

〔10〕 支部活動

7 支部がそれぞれ総会、講演会、セミナー、見学会、表彰等を実施した。

〔11〕 研究委員会活動

20 研究委員会 (嫌気性微生物処理、MS 技術、生物膜法、身近な生活環境、ポピュレーションダイナミクス、バイオアッセイによる安全性評価、土壌地下水汚染、水環境と洗剤、水環境保全の国際協力、水中の健康関連微生物、湿地・沿岸域、ノンポイント汚染、水環境教育(WEE21)、膜を利用した水処理技術、紫外線を利用した水処理技術、産業排水の処理・回収技術、システム解析、電気化学的技術、熱帯・亜熱帯地域水環境、農産業に関わる水・バイオマス循環技術) が、それぞれシンポジウムでセッションを企画するなどの活動を行った。

[12] 表 彰

平成 27 年度の学会賞、学術賞、論文賞、論文奨励賞（廣瀬賞）、技術賞、技術奨励賞および水環境文化賞の受賞者を選考の結果、次の各氏・団体に決定した（敬称略）。また、年会優秀発表賞、年会学生ポスター発表賞、博士研究奨励賞、水環境国際招聘賞、水環境国際活動賞、年間優秀論文賞および WET 優秀賞を選考し、次の各氏に授賞した（敬称略・50 音順）。

(1) 学会賞

受賞者 さこだ あきよし
迫田 章義（東京大学生産技術研究所・教授）

(2) 学術賞

受賞者 たかだ ひでしげ
高田 秀重（東京農工大学農学部環境資源科学科・教授）
対象研究 マーカーと新規モニタリング手法に基づく有機汚染の時空変動の把握に関する研究

(3) 論文賞

受賞者 きしもと なおゆき
岸本 直之（龍谷大学理工学部・教授）
主要対象論文 Reusability of Iron Sludge as an Iron Source for the Electrochemical Fenton-type Process using Fe²⁺/HOCl System
掲載誌 *Water Research*, Vol.47, 1919-1927 (2013)

(4) 論文奨励賞（廣瀬賞）

受賞者 しょうじ ただし
庄司 仁（成蹊大学理工学部・助教）
対象論文 In-sewer Treatment System of Enhancing Self-Purification: Performance and Oxygen Balance in Pilot Tests
掲載誌 *Journal of Water and Environment Technology*, Vol.13, 427-439 (2015)

(5) 技術賞

受賞者
はせべ よしあき 長谷部 吉昭（オルガノ株式会社）
めぐろ ひろあき 目黒 裕章（オルガノ株式会社）
みやけ まさき 三宅 将貴（オルガノ株式会社）
やまだ ひとひ 山田 一陽（オルガノ株式会社）
なりた ひろき 成田 裕樹（オルガノ株式会社）
えぐち まさひろ 江口 正浩（オルガノ株式会社）
対象技術 グラニュールを利用した高速窒素排水処理システム

受賞者

ふじわら たく

藤原 拓 (高知大学)

ちん しよちゃん

陳 小強 (高知大学、現・大連理工大学)

はしもと としかず

橋本 敏一 (日本下水道事業団)

なかまち かずお

中町 和雄 (前澤工業株式会社)

対象技術 オキシデーションディッチ法における二点 DO 制御システム

(6) 技術奨励賞

受賞者

すがはら まさたか

菅原 正孝 (大阪産業大学)

ふじかわ ようこ

藤川 陽子 (京都大学)

とのかい かずお

殿界 和夫 (NPO 法人 地下水利用技術センター)

すずき いちろう

鈴木 市郎 (横浜国立大学)

対象技術 鉄バクテリア法を用いた地下水中の鉄・砒酸・亜砒酸の同時除去技術

受賞者

わだ けいこ

和田 桂子 (公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構)

ふくじゅ しんや

福壽 真也 (株式会社日建設計シビル)

対象調査研究 水質モニタリングデータの活用による流域全体の変遷を捉えた水環境を見える化する手法

(7) 水環境文化賞

1) 水環境文化賞

受賞者 国際ロータリー第 2530 地区 (福島県郡山市)

対象活動 猪苗代湖の環境保全活動および水環境に関する広報・教育活動

受賞者 特定非営利活動法人 さとうみ振興会 (広島市)

対象活動 海辺における環境教育の振興および干潟等における環境モニタリング調査

2) 水環境文化賞「児童・生徒の部 (みじん子賞)」

受賞者 岡山理科大学附属高等学校科学部 (岡山市)

対象活動 旭川合同用水等の河川水質調査研究および水環境に関する地域活動への協力・貢献

(8) 年会優秀発表賞

あきやま めぐみ

秋山 恵美 (北海道大学大学院)

いけかめ しようへい

池亀 翔平 (北海道大学大学院)

いたくら ほまれ

板倉 帆希 (東北大学大学院)

おおつき りようたろう

大附 遼太郎 (日本大学大学院)

かみやま かずや

神山 和哉 (東北大学大学院)

こしお	みか	
小塩	美香	(東京大学大学院)
しらすか	ゆうや	
白坂	勇也	(京都大学大学院)
つるおか	なつみ	
鶴岡	夏海	(長岡技科大学大学院)
にいな	こうき	
新名	晃宜	(宮崎大学大学院)
はしもと	ふみ	
橋本	扶美	(鹿児島大学大学院)
ほうのき	だいすけ	
厚朴	大祐	(北海道大学大学院)
ほし	たけひろ	
星	丈弘	(長岡技科大学大学院)
まつざき	そういちろう	
松崎	壮一郎	(東京農工大学大学院)
まつばやし	みり	
松林	未理	(東北大学大学院)
やまなし	ゆう	
山梨	由布	(群馬大学大学院)
ゆきおか	さとる	
雪岡	聖	(京都大学大学院)

(クリタ水・環境科学振興財団からの出捐顕彰事業として、上記の16名に「年会優秀発表賞」を授与した。)

(9) 年会学生ポスター発表賞 (◎：最優秀賞)

あらき	みほ	
荒木	美穂	(秋田県立大学)
いけだ	てつや	
池田	哲也	(千葉工業大学)
いしい	よしひろ	
石井	淑大	(東京大学)
くすのき	かずや	
楠	和也	(群馬大学)
◎こばやし	かなえ	
◎小林	香苗	(北海道大学)
さいき	まこと	
齋木	真琴	(山梨大学)
ひろ	ゆたか	
廣	雄高	(東北大学)
ふじい	だいき	
藤井	大輝	(大阪大学)
ふじた	ゆうき	
藤田	悠貴	(北海道大学)
やました	れな	
山下	玲菜	(北海道大学)
よしむら	くるみ	
吉村	玖瑠美	(お茶の水女子大学)
るいけ	わたる	
類家	渉	(八戸工業高等専門学校)

(ライオン株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の12名に「年会学生ポスター発表賞」を授与し、うち1名に最優秀賞を授与した。)

(10) 博士研究奨励賞 (◎：最優秀賞)

◎すずき	ゆうじ	
◎鈴木	裕識	(京都大学)

(オルガノ株式会社からの出捐顕彰事業として、第18回シンポジウムで発表した上記1名に最優秀賞を授与した。)

(11) 水環境国際招聘賞 (JSWE-IDEA Water Environment International Exchange Award)

Dongbin WEI (魏東斌) (中国) (Chinese Academy of Sciences)

Rupak Aryal (オーストラリア) (University of South Australia)

(いであ株式会社からの出捐顕彰事業として、第 50 回年会で研究発表を行った 2 名の海外在住外国人会員に対し、「水環境国際招聘賞」を授与し来日費用等を助成した。)

(12) 水環境国際活動賞 (JSWE-IDEA Water Environment International Activity Award)

せい かずなり
清 和 成 (北里大学・教授)

(いであ株式会社からの出捐顕彰事業として、「IWA World Water Congress & Exhibition 2016 におけるワークショップ」に対し、「水環境国際活動賞」を授与しその費用の一部を助成することを決定した。)

(13) 年間優秀論文賞

えびえ よしたか やまざき ひろし いなむら しげあき じんぼ ゆうすけ こばやし たくろう
受賞者 蛭江 美孝*、山崎 宏史**、稲村 成昭***、神保 有亮****、小林 拓朗*

*国立環境研究所、**東洋大学、***岩手県浄化槽検査センター、****富山県環境科学センター

対象論文 Development of emission factor for the decentralized domestic wastewater treatment for the national greenhouse gas inventory

掲載誌 Journal of Water and Environment Technology, Vol. 12, No. 1, 33-41 (2014)

(メタウォーター株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の論文の著者に平成 26 年「年間優秀論文賞」を授与し、第 18 回シンポジウムでの受賞者講演会の発表者に旅費等を助成した。)

(14) WET 優秀賞

WET Excellent Presentation Award (WET 優秀発表賞)

Qian BAO (Tokyo University of Agriculture and Technology)

Thi Kinh CO (Tokyo University of Agriculture and Technology)

Tingting GU (Kanazawa University)

Kyoshiro HIKI (The University of Tokyo)

Sijing JIA (Shaanxi University of Science & Technology, China)

Ryo KANDA (Ryukoku University)

Karla Marlene MENA AGUILAR (Chiba University)

Huy Van NGUYEN (Okayama University)

Kouki NIINA (University of Miyazaki)

Wilailuk NIYOMMANEERAT (The University of Tokyo)

Phanwatt PHUNGSAI (The University of Tokyo)

Masaki SAGEHASHI (National Institute of Public Health)

Paula Cecilia SOTO RIOS (Tohoku University)

Pimvarat SRIKWAN (Chulalongkorn University, Thailand)

Rie TAI (Yokohama National University)

Miina YANAGIHARA (The University of Tokyo)

(水 ing 株式会社からの出捐顕彰事業として、WET2015 の参加者のうち、上記 16 名の発表者に「WET Excellent Presentation Award」を授与した。WET2015 での発表に対する WET Excellent Paper Award は WET2016 で授与される。)

[13] 国際活動

国際会議の開催、国際活動への助成、外国人研究者の招聘、IWA 活動への協力などを行った。国際連携会員の拡大に努めた。なお、京都会議記念基金を基にした国際会議参加援助の該当者はなかった。

[14] 事業活動

1. セミナー等の開催

セミナー等を次のとおり開催した。

(1) 第 24 回市民セミナー

- 1) テーマ 放射性物質はどこへ行ったのか? -東日本大震災による原発事故のその後-
- 2) 開催日 平成 27 年 8 月 7 日(金)
- 3) 場 所 東京会場：地球環境カレッジホール (東京都世田谷区)
大阪会場：いであ(株)大阪支社 ホール (大阪市住之江区)
- 4) 参加者 東京会場 135 名、大阪会場 50 名

(2) 第 61 回日本水環境学会セミナー

- 1) テーマ 水循環基本法の施行に伴う水循環政策の動向と水環境研究の方向性
- 2) 開催日 平成 28 年 2 月 8 日(月)
- 3) 場 所 自動車会館大ホール (東京都千代田区)
- 4) 参加者 105 名

(3) MS 分析技術基礎講習会～今さら聞けない基礎知識講習会～S P E 編

- 1) 開催日 平成 27 年 10 月 6 日 (火)
- 2) 場 所 武田ホール (東京大学本郷キャンパス武田先端知ビル) (東京都文京区)
- 3) 参加者 65 名

2. 見学会の実施

第 29 回見学会を次のとおり実施した。

- 1) 開催日 平成 27 年 7 月 16 日(木)
- 2) 場 所 アナモックス反応を活用した窒素排水処理設備 (三井化学大阪工場) (大阪府高石市)
- 3) 参加者 27 名

第 30 回見学会を次のとおり実施した。

- 1) 開催日 平成 27 年 11 月 6 日 (金)
- 2) 場 所 環境省濠水浄化施設 (東京都千代田区)
東京都水道歴史館 (東京都文京区)
- 3) 参加者 11 名

3. 水環境懇話会の開催

水環境懇話会を次のとおり開催した。

(1) 第38回水環境懇話会

- 1) 開催日 平成27年9月11日(金)
- 2) 場 所 学会事務局会議室(東京都江東区)
- 3) テーマ 海外でのプラントプロポーザル、EPC事例について
- 4) 参加者 16名

(2) 第39回水環境懇話会

- 1) 開催日 平成28年2月15日(月)
- 2) 場 所 学会事務局会議室(東京都江東区)
- 3) テーマ 仕事を作ってみた(海外案件編)～海外経験ゼロだったところから、海外仕事に関わるようになるために何をしたらか、何を見てきたか、今後はどう見ているか～
- 4) 参加者 22名

4. その他

- (1) 関連学協会の講演会等を協賛した。
- (2) IWA 団体会員の会費支払手続きを代行した。
- (3) 日本学術会議の下に設置された大震災の総合対応に関する学協会の連絡会に参画し、継承団体である防災学術連携体に参加した。